

令和4年度 第3回 安曇野暮らし支援協議会 会議概要

- 1 協議会名.....令和4年度...第3回 安曇野暮らし支援協議会....
- 2 日 時.....令和5年3月23日 午前10時から11時15分まで.....
- 3 会 場.....安曇野市役所...3階...理事者側控室....
- 4 出席者.....横田会長、北林副会長、浅川委員、松本委員、宮澤委員
- 5 市側出席者...赤沼移住定住推進課長、所移住定住推進係長、平野移住定住推進係主査...  
奥村移住定住推進係主査
- 6 公開・非公開の別.....公開....
- 7 会議概要作成年月日.....令和5年3月23日.....

協 議 事 項 等

[次 第]

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議事項
  - (1) 令和4年度事業報告
  - (2) 令和5年度主な新規事業
    - ア. 移住相談体制の整備
    - イ. 結婚新生活支援事業
  - (3) その他
  - (4) 今後の予定
- 4 閉 会

[会議概要]

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
 

人の動きを見ていると安曇野市に来る人も増え、相談される方も多くなっている印象。空き家講演会の中で市長からも話があったが、安曇野市は県内でも特に転入者が多いとのこと。この流れを止めることなく、本協議会でも継続して関わっていかれたらと思う。
- 3 会議事項
  - (1) 令和4年度事業報告
    - ・ 安曇野市 事務局資料に沿って説明。【資料1】  
〈意見等〉
    - 【観光協会】体験ツアーについては、コロナ前2019年が最後の実施となっていた。今年アウトドアを取り入れて実施してみて、客層が変わった印象を受けた（以前はもっと年代が高かった）。なので、体験ツアーのテーマを絞って実施するのは良いと思う。
    - ⇒秋のツアーは三郷小倉区の協力のもと実施。なかなか全ての区とはいかないが、このように移住者に対する理解、接点を持つとする区があるのは良いこと。現在の区長さんは任期終了となるが、今後も移住者へのアプローチは続けたいとのこと。
    - 【ふるさとづくり応援団】移住セミナーでの安曇野市人気は根強くある。ただ、若い人にとって移住には資金面がハードル。興味から実際の移住につなげられるかが課題。

⇒中京・関東圏からの人気は高い。他主催の大規模フェア出展では新しい客層も捕まえることができるし、県主催セミナーでは県内事情も知ることができるため、さまざまなセミナーに出展したいと考えている。また、転入の傾向を見ると、安曇野市は圧倒的に県内転入者が多く、また20～40代が多いことが特徴といえる。移住サポート者としては50代～が多いが、行政のサポートなしに自ら安曇野市を選択している子育て世代の転入が増えている。この20～40代の増加を強みとして、今後も移住促進に取り組みたい。長野県にも若い方向けのセミナー実施を要望していきたい。

・ 各団体報告

【ふるさとづくり応援団】今年子どもたちに向けた探究学習に力を入れてやってきた。将来戻ってきてもらうためにも、自分たちが住む地域をまずは知ってもらいたい。そんな所でも協力できたらと思っている。

【宅建協会】事業という形では行っていないが、松本、池田、安曇野などで年に数回移住関連の会議に参加した。

【地域振興局】事業としては、先ほど事務局から報告のあったとおり。今年度多くの事業を行い、安曇野市としても大勢の人が来てくれる現状も分かったと思う。他の市村にも伝えているが、次のステップは地域のことを考え、一緒に行動してくれるような人材を確保することだと思う。移住で成功している地域を見ていると「人が人を呼ぶ」ということが見て取れる。柱になるような人をどう呼び寄せていくか、そういう仕掛けを作っていくことが大事ではないか。

【観光協会】来年度観光の事業ではあるがアウトドアガイド養成事業を実施する。進学などで地元を離れた人がまた帰ってくることを念頭に置きつつ、観光のみならず地域を盛り上げる意味で事業を進めていきたい。

(2) 令和5年度主な新規事業

ア. 移住相談体制の整備

・ 事務局資料に沿って説明。【資料2】

〈意見等〉

【観光協会】募集は10人程度とあるが、事業者・一般市民、どのような想定か。

⇒なかなか一般の人は見つけづらいところもある。宿泊事業者で移住相談に応じている人などは、ある程度把握している部分もある。また、ある程度行政側のビジョン（区への加入など）に共感いただける皆さんでないといけない。人選はこれからかなり研究したい。いずれにしても、これまで点と点だった人たちを結び付けることで、相談体制の強化を図りたい。

【ふるさとづくり応援団】移住セミナーなどでは、だいたい「仕事」と「住宅」が人気を二分する。

⇒また移住体験談や苦労話を聞きたいとの話も多い。宅建協会の皆様はじめ、協議会の皆さんには相談員としての参加について協力願いたい。

イ. 結婚新生活支援事業

・ 事務局資料に沿って説明。【資料3】

〈意見等なし〉

(3) その他

〈なし〉

(4) 今後の予定

・ 次回開催日は、4月18日（火）10：00～

新メンバーとなり、委嘱書の交付、令和5年度の事業計画などを予定。

4 閉会

